



東京都目黒区  
医療法人社団 山手会  
アトラスタワーデンタルクリニック  
理事長 藤田 博紀 先生

## スペースライン EX ユーザーインタビュー

# 優れたデザイン性。 信頼を構築する 空間・環境づくりのために。

### 良質なデザインに魅せられて

機能性ととも高い審美性が求められる、それが歯科医療です。そのため、歯科の先生の中には「美しさ」に関することに興味を抱く方が多いように思います。私自身も若い頃からインテリアに関心を持ち、当院の内装のデザイン・設計に深く関わったほどでした。そうした中でデザイン的にも機能的にも自分の感性にマッチしたユニットがスペースラインEXでした。

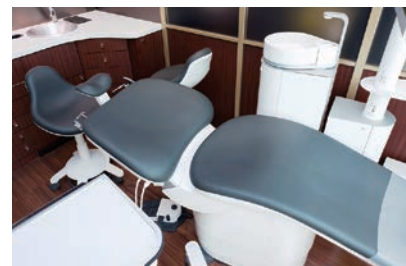
例えば、直線の使い方やコーナーの曲線の取り方など、高級インテリアのデザイン要素がさり気なく組み込まれていて、インテリア好きの私としては非常に心がくすぐられます。これはもはや歯科医療機器の枠を超え、1つのインテリアとして捉えて

もよいほどだと思っています。

### 信頼関係を構築するために

私が診療環境の大切さを初めて強く意識したのは、大学卒業後にお世話になった愛媛県新居浜市の歯科医院に勤めたときでした。そこでは診療台、器具の配置、カウンセリングルームのテーブルや椅子の形状、照明器具の配置の仕方など、あらゆる内装デザインがある計算のもとで成り立っていました。単に視覚的に「おしゃれ」だけでなく、「患者さんとの信頼関係を築くための空間」として、デザインが考えられていたのです。

例えば、開業するとき、どんな先生でもユニットまわりが暗くならないことを優先的に



隣の診療室ではシート色にグレーを採用。診療室ごとにシート色を変えて患者さんと術者の気分転換を促す。

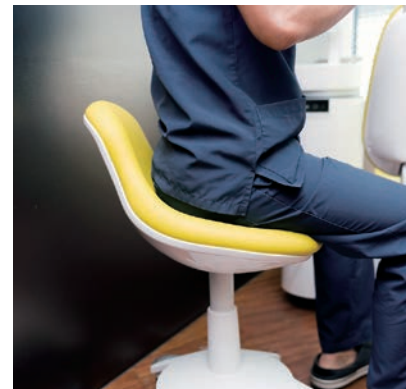
考えるものと思います。ところが、患者さんの立場からすれば、診療室に足を踏み入れた際に部屋のコーナーが暗いと無意識のうちにその空間に陰気なイメージを抱きます。すると、治療に対する恐怖心が起こりやすくなってしまいます。



「直線を基調にしなからワンポイントで曲線を効かせるのはお洒落を演出する基本です」と藤田理事長。



鮮やかなイエローのシートカラーは開業時に使用していたスペースラインを懐かしく思い出して採用された。



「このツールに座ると自然と仕事モードのスイッチが入る」と藤田理事長のお気に入り。



タイプの大きく異なるデザインが印象的な2F(写真左)と3F(写真右)の受付・待合室。3Fのデザインは大部分を藤田理事長みすから手がけられるほど、インテリアや内装への造詣が深い。

患者さんにとっても術者にとっても理想的な診療環境を考えた場合、ユニットまわりを明るくすると同時に、室内のコーナーに照明器具を設置して明るく照らすことが、実は重要になるのです。

こちらが緻密に計算して整えた環境に対して、どういう理屈なのか患者さんは分からなかったとしても、「おしゃれだな」とか「リラックスできるな」とか、無意識のうちに感じ取るものです。ですから、私はユニットのデザイン性にもしっかりと気を配りたいと考えています。

## 仕事のオン／オフの切り替えがスムーズに

恐怖心を与えないという点では、器材類がチェアのバックレストに格納でき、患者さんの視界に入らない設計についても、昔から気に入っています。また、トレーの可動域が従来よりも広がったため、患者さんの出入りがしやすくなり、自然な流れで診療に移れる点もいいと思います。

患者さんからは「寝心地がいい」という感想をよくいただいています。患者さんにとって快適なユニットであることは間違いありませんが、人間工学に基づいて計算された規格・設計は、歯科医師にとっても疲れ

にくく、集中力の持続に寄与しているものと思います。

例えば、専用ツールである「オペレーティングツール EX」を例に挙げます。腰をかけると、身体が少しだけ前に押し出され、無意識のうちに施術時の基本姿勢を取ることができます。「ツールに座ること」と「仕事をする姿勢」がイコールで結ばれるので、仕事のオン／オフの切り替えがしやすくなります。

実は、このオン／オフの切り替えは重

要なポイントで、1日に何人も患者さんを診るには、気分転換をするべきときはして、診療に集中するべきときは瞬時に集中するというメリハリが、結果的に精密で正確な手指のコントロールの実現につながるものと考えています。

## 空間や環境を大切にしたいドクターへ

当院では5つの診療室全てにスペースラインEXを導入し、それぞれのシートカラーを変えています。医院内を飾る生花も定期的に交換し、2階と3階の内装はまったく違うデザインにしています。それはスタッフや私自身が忙しい1日の中でも気分転換を図り、メリハリをつけながら仕事に集中するためであり、患者さんが少しでも緊張から解放される時間を作りたいと考えているためです。

スペースラインは名称の由来でもある「診療する人のための空間」「診療を受ける人のための空間」を最優先に設計されています。デザイン的にも美しく、患者さんと医療従事者にとって快適に過ごせるスペースラインEXは、空間や環境を大切にしたいと考える私にとって最良のパートナーだと言えるでしょう。



診療室のコーナーを照らすダウンライトに注目。